

資料1. 村上駅周辺のまちづくりの基本方針及び施策（修正案）

<協議のポイント>

- ① 6つの基本方針（案）の内容
- ② 基本方針における「取り組みの視点・方向性」の考え方

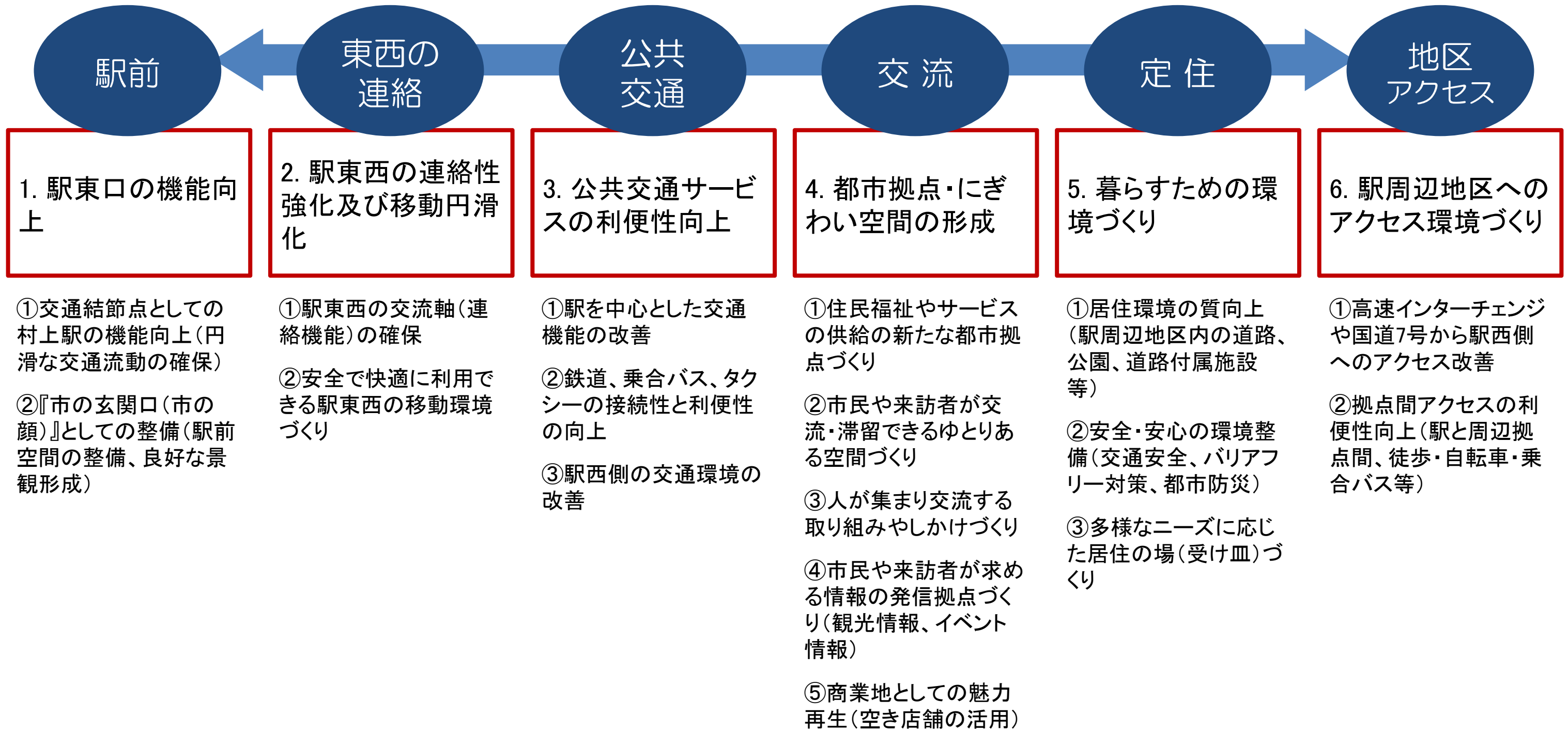
まちづくりの課題	基本方針（案）		具体的な施策（案）
		取り組みの視点・方向性	
<p>まちづくりの課題</p> <p>ア. 駅前の賑わいや玄関口としての魅力に乏しい</p> <p>イ. 駅前空間及び公共交通の利便性の低さ</p> <p>ウ. 駅東西の分断感</p> <p>エ. 地区内移動時の制約</p> <p>オ. 周辺地区とのアクセシビリティ</p> <p>カ. 居住環境の魅力不足</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>まちづくりの視点</p> <p>(1) 持続的な発展・活性化に資する都市機能の配置と誘導</p> <p>(2) らしさ・魅力の創出</p> <p>(3) 市民等の主体的活動と行政の先導的支援</p>	1. 駅東口の機能向上	<p>① <u>交通結節点としての村上駅の機能向上</u>（円滑な交通流動の確保）</p> <p>② 『市の玄関口（市の顔）』としての<u>整備</u>（駅前空間の整備、良好な景観形成）</p>	<p>a. 駅東口広場空間の整備</p> <p>b. 鉄道利用者向け駐車場整備</p> <p>c. 駅前通りの環境整備</p>
	2. 駅東西の連絡性強化及び移動円滑化	<p>① 駅東西の交流軸（連絡機能）の確保</p> <p>② <u>安全で快適に利用できる駅東西の移動環境づくり</u></p>	<p>a. 駅東西を連絡する通路の整備</p> <p>b. 鉄道横断箇所の安全対策</p>
	3. 公共交通サービスの利便性向上	<p>① 駅を中心とした交通機能の改善</p> <p>② <u>鉄道、乗合バス、タクシーの接続性と利便性の向上</u></p> <p>③ <u>駅西側の交通環境の改善</u></p>	<p>a. 駅の利便性向上</p> <p>b. 駅舎の整備</p> <p>c. 乗合バスの利便性向上</p>
	4. <u>都市拠点・にぎわい空間の形成</u> （交流人口の増加）	<p>① <u>住民福祉やサービスの供給の新たな都市拠点づくり</u></p> <p>② <u>市民や来訪者が交流・滞留できるゆとりある空間づくり</u></p> <p>③ <u>人が集まり交流する取り組みやしかけづくり</u></p> <p>④ <u>市民や来訪者が求める情報の発信拠点づくり</u>（観光情報、イベント情報）</p> <p>⑤ <u>商業地としての魅力再生</u>（空き店舗の活用）</p>	<p>a. <u>大規模跡地等の利活用</u>（地区の核となる都市機能増進施設の整備）</p> <p>b. <u>にぎわい創出のイベントやしかけづくり</u></p> <p>c. 情報発信拠点の整備</p> <p>d. 商業活性化に向けた取組</p> <p>e. 案内誘導の充実</p>
	5. <u>暮らすための環境づくり</u> （定住人口の増加）	<p>① <u>居住環境の質向上</u>（駅周辺地区内の道路、公園、道路附属施設等）</p> <p>② <u>安全・安心の環境整備</u>（交通安全、バリアフリー対策、都市防災）</p> <p>③ <u>多様なニーズに応じた居住の場（受け皿）づくり</u></p>	<p>a. 地区内道路の整備</p> <p>b. 公園・広場空間の整備</p> <p>c. 自転車・歩行者空間の整備</p> <p>d. <u>定住促進の支援方策</u></p>
	6. <u>駅周辺地区へのアクセス環境づくり</u>	<p>① <u>高速インターチェンジや国道7号から駅西側へのアクセス改善</u></p> <p>② <u>拠点間アクセスの利便性向上</u>（駅と周辺拠点間、徒歩・自転車・乗合バス等）</p>	<p>a. <u>高速インターチェンジ等から駅西側へアクセスする幹線道路の整備</u></p> <p>b. 案内誘導の充実</p> <p>c. <u>駅西側の整備及び乗合バスの利便性向上</u></p>

※アンダーライン箇所は、前回資料から見直したもの。統合・削除した項目もあり。

基本方針に係る優先度の設定について

村上駅周辺のまちづくりについては、それぞれの基本方針が相互に連携し機能することで、まちづくり全体が達成されていくものと考えます。村上駅周辺まちづくりプラン基本構想では、基本方針には優先度を設定するという考え方は適用せず、基本方針の下で個々の取り組み、または具体的な施策で優先度を考えることとなります。

< 6つの基本方針 >



村上駅周辺地区の将来整備方針図(修正案)

凡 例	
●	店舗
●	飲食店
●	宿泊施設
●	行政施設
●	文化・教育施設
●	医療・福祉施設
●	交通施設
○	金融・郵便施設
●	その他施設
■	大規模公共施設用地
○	バス停留所
---	バス路線網
---	用途地域界
---	町丁界・町丁名

※建物形状表示は建築面積500㎡以上の建築物
黄点：町



- 【基本方針(案)】**
1. 駅東口の機能向上
 2. 駅東西の連絡性強化及び移動円滑化
 3. 公共交通サービスの利便性向上
 4. 都市拠点・にぎわい空間の形成(交流人口の増加)
 5. 暮らすための環境づくり(定住人口の増加)
 6. 駅周辺地区へのアクセス環境づくり

1-①交通結節点としての村上駅の機能向上
1-②『市の玄関口(市の顔)』としての整備
3-①駅を中心とした交通機能の改善
3-②鉄道、乗合バス、タクシーの接続性と利便性の向上
3-③駅西側の交通環境の改善
4-④市民や来訪者が求める情報の発信拠点づくり

2-①駅東西の交流軸(連絡機能)の確保
3-③駅西側の交通環境の改善
6-②拠点間アクセスの利便性向上

3-②鉄道、乗合バス、タクシーの接続性と利便性の向上

4-①住民福祉やサービスの供給の新たな都市拠点づくり

4-②市民や来訪者が交流・滞留できるゆとりある空間づくり

5-①居住環境の質向上(駅周辺地区内の道路、公園、道路付属施設等)
5-②安全・安心の環境整備(交通安全・バリアフリー対策、都市防災)
5-③多様なニーズに応じた居住の場(受け皿)づくり
6-②拠点間アクセスの利便性向上

2-②安全で快適に利用できる駅東西の移動環境づくり
6-①高速インターチェンジや国道7号から駅西側へのアクセス改善

4-③人が集まり交流する取り組みやし
かけづくり
4-⑤商業地としての魅力再生

4-①住民福祉やサービスの供給の新たな都市拠点づくり
4-③人が集まり交流する取り組みやし
かけづくり
4-④市民や来訪者が求める情報の発信拠点づくり

3-②鉄道、乗合バス、タクシーの接続性と利便性の向上

大規模施設跡地

鉄道利用による来訪者
(新潟・新発田、首都圏等)

高速道路インターチェンジ
[村上瀬波温泉IC]

※岩船街道踏切付近

町屋・城下町観光との連携
(徒歩による回遊)

国道345号
瀬波温泉、岩船港との連携

市役所
旧武家町

国道7号

高速道路インターチェンジ
[村上瀬波温泉IC]

